

# 第29期決算公告

令和元年度6月6日  
 東京都品川区東品川2丁目3番11号  
 株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベル  
 代表取締役兼社長執行役員 黒澤 信也

## 貸借対照表

2019年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	11,161,533,679	流動負債	8,092,776,898
現金及び預金	37,642,108	営業未払金	3,606,559,131
営業未収金	4,156,040,692	未払金	1,092,532,270
棚卸資産	5,655,754	未払費用	370,460,933
営業前払金	387,971,933	未払法人税等	47,253,300
前払金	53,558,944	未払消費税等	83,703,800
前払費用	135,203,407	営業前受金	2,566,678,296
短期貸付金	6,377,515,117	預り金	320,656,168
未収金	5,847,346	前受収益	4,933,000
未収還付法人税等	399,800	固定負債	487,952,059
その他	1,698,578	預り保証金	295,555,502
固定資産	873,785,451	退職給付引当金	158,136,557
有形固定資産	136,682,229	役員退職慰労引当金	34,260,000
建物附属設備	90,575,752	負債合計	8,580,728,957
器具備品	46,106,477	純資産の部	
無形固定資産	270,916,657	株主資本	3,454,590,173
ソフトウェア	270,132,157	資本金	450,000,000
電話加入権	39,000	資本剰余金	787,617,426
権利金	745,500	資本準備金	150,000,000
投資その他の資産	466,186,565	その他資本剰余金	637,617,426
差入保証金	257,997,581	利益剰余金	2,216,972,747
長期前払費用	15,790,812	利益準備金	30,870,000
繰延税金資産	191,248,782	その他利益剰余金	2,186,102,747
長期債権	13,127,426	別途積立金	455,000,000
貸倒引当金	△ 11,978,036	繰越利益剰余金	1,731,102,747
		(うち当期純利益)	(98,083,739)
資産合計	12,035,319,130	純資産合計	3,454,590,173
		負債・純資産合計	12,035,319,130

# 個 別 注 記 表

## 【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を適用しております。

### 2. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産・・・・・・・・定率法を適用しております。

ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物は、定額法を適用しております。

#### (2) 無形固定資産・・・・・・・・定額法を適用しております。

なお、ソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法を適用しております。

### 3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金・・・・・・・・売上債権、貸付金等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 退職給付引当金・・・・・・・・従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（11年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

(3) 役員退職慰労引当金・・・・・・役員退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

### 4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理・・・・税抜方式によっております。

(2) 連結納税制度・・・・・・・・連結納税制度を適用しております。